

2. 由布市の概況

2-1 地域の現状

2-1-1 人口特性

1) 総人口の推移

- 人口は約 34,262 人、高齢化率は 32.1%（いずれも H27 年国勢調査）であり、人口は、ほぼ横ばいとなっている一方、高齢化率は増加傾向にあります。
- 近年の地域別人口の増減状況を見ると、挾間地域で増加傾向、庄内地域と由布院地域では減少傾向にあります。

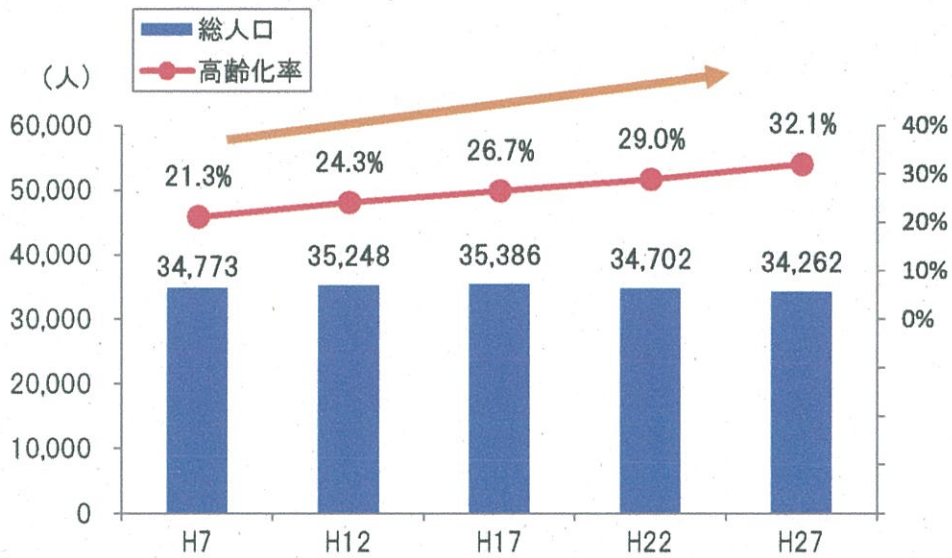


図 市の人口と高齢化率の推移

資料：国勢調査

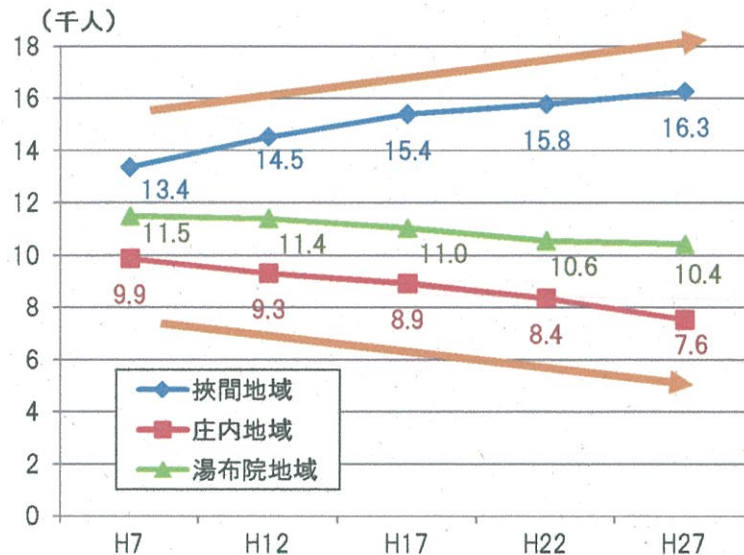


図 近年の地域別の人口増減状況

資料：国勢調査

2) 人口分布

- 総人口は、挾間地域中心部、湯布院地域中心部に集中しているほか、庄内地域の国道沿いにも多く分布しているエリアがあります。
- 一方で、国県道から奥まった市道沿線においても、人口集積がみられ、薄く広く人口が分散していることが分かります。

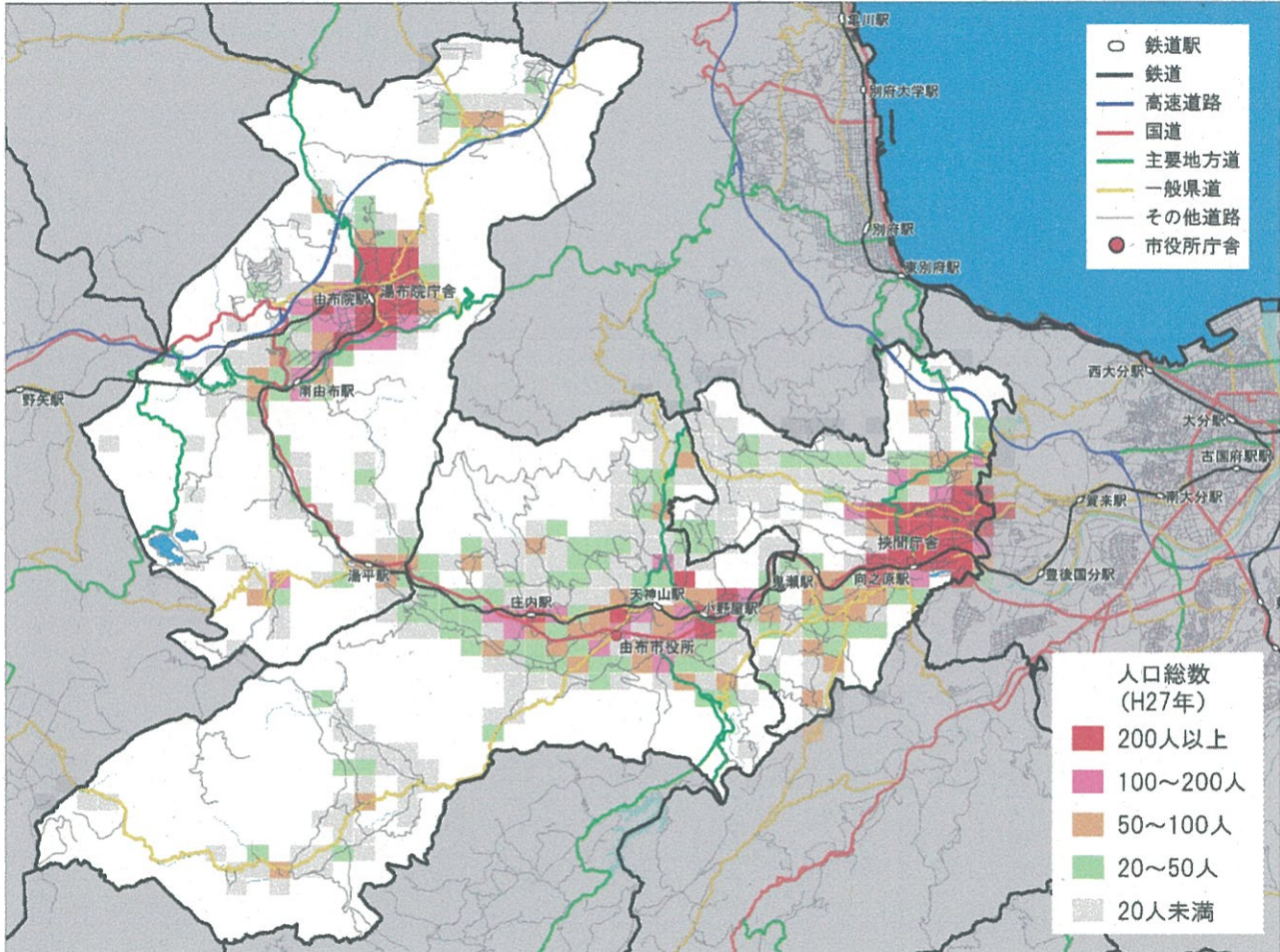


図 由布市の人口分布（平成 27 年）

資料：平成 27 年国勢調査

3) 人口増減率

●人口増減率は、挾間地域や湯布院地域を中心に高い増加率となっているエリアがみられるほか、挾間地域の郊外部及び庄内地域を中心に高い減少率となっているエリアがみられません。

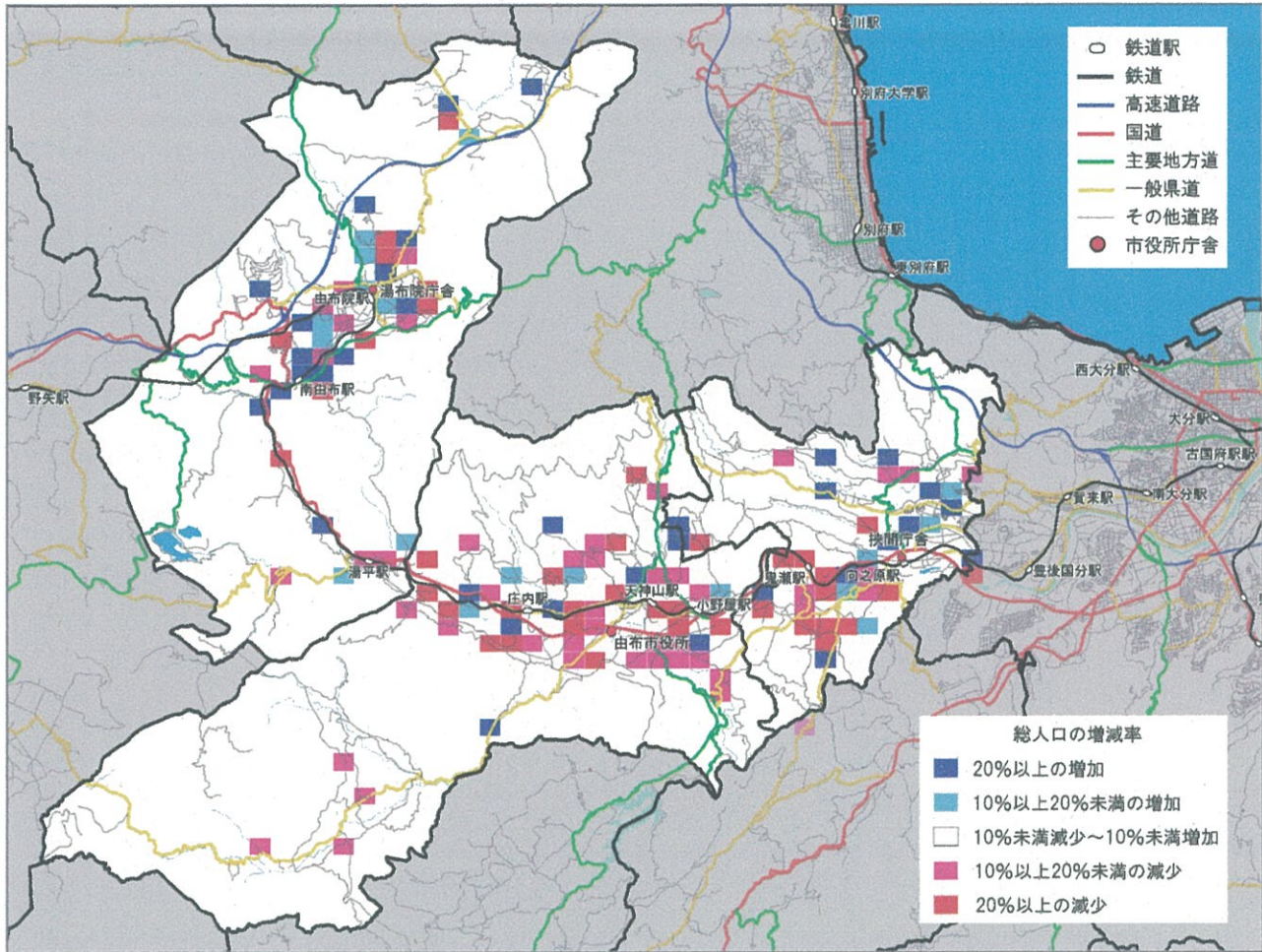


図 由布市の人口増減率分布（平成22年→平成27年の増減率）

資料：平成27年国勢調査

注) 人口20人未満のメッシュは対象外とした

4) 高齢者分布

- 高齢者人口は、人口分布と同様に、挾間地域中心部、湯布院地域中心部に集中しているほか、庄内地域の国道沿いにも多く分布しているエリアがあります。
- 一方で、国県道から奥まった市道沿線においても、人口集積がみられ、薄く広く人口が分散していることが分かります。

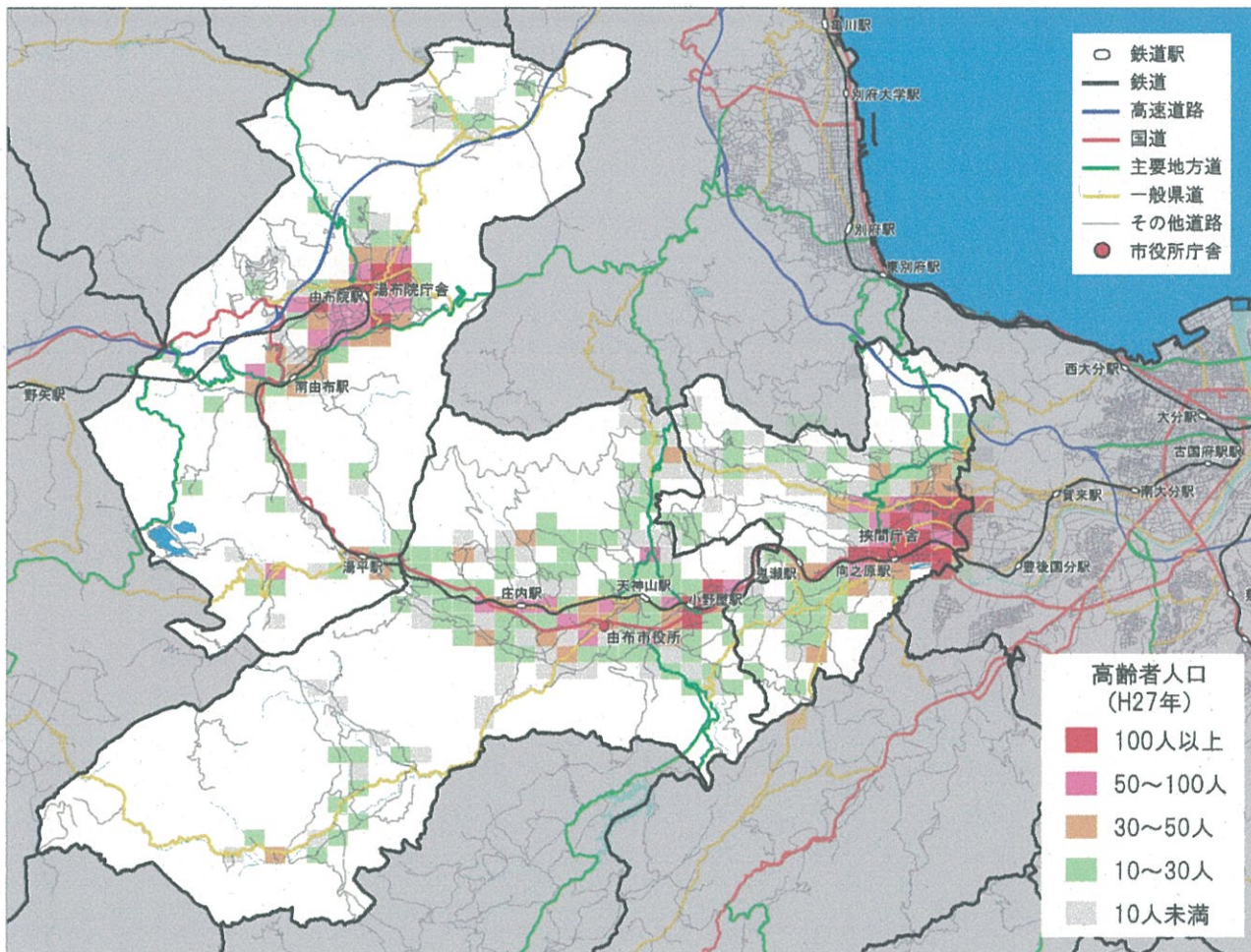


図 由布市の高齢者人口の分布（平成 27 年）

資料：平成 27 年国勢調査

5) 高齢化率分布

- 高齢化率の分布状況を見ると、挟間地域の大分市寄り等において高齢化率が比較的低いエリアが一定程度集積しています。
- 由布市高齢化率より10ポイント以上高い高齢化率45%以上のエリアが全域に分布しています。

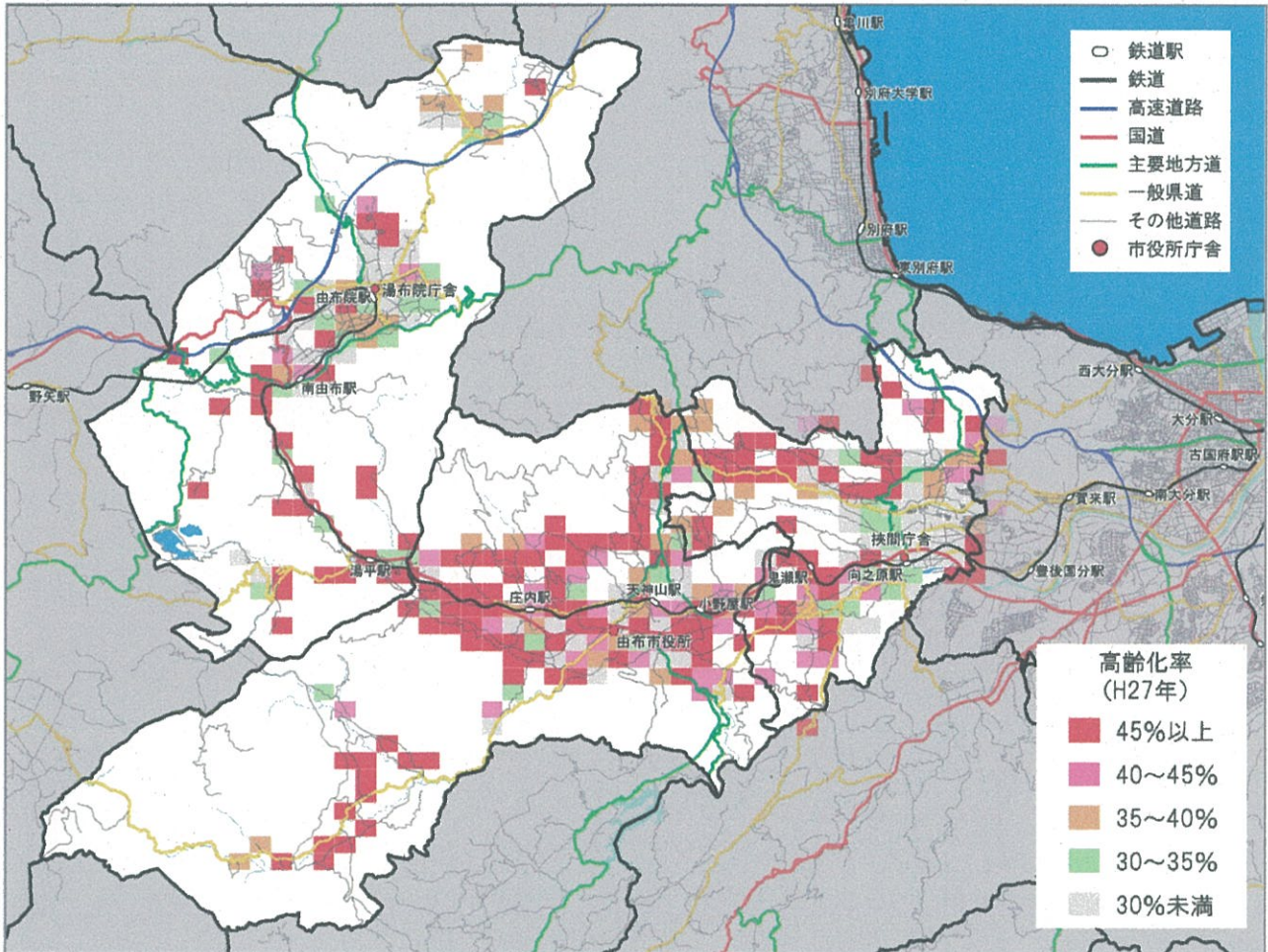


図 由布市の高齢化率の分布 (平成 27 年)

資料：平成 27 年国勢調査

2-1-2 生活施設分布

- 公共施設は、国道沿いに多く分布しています。高校は庄内地域に由布高校があり、小野屋駅を最寄駅としています。大学は挾間地域に大分大学医学部があります。
- 医療施設及び商業施設は、各地域の主要鉄道駅（挾間地域は向之原駅、庄内地域は天神山駅と小野屋駅、湯布院地域は由布院駅）の1 km圏内及び国道沿いに多く分布しています。

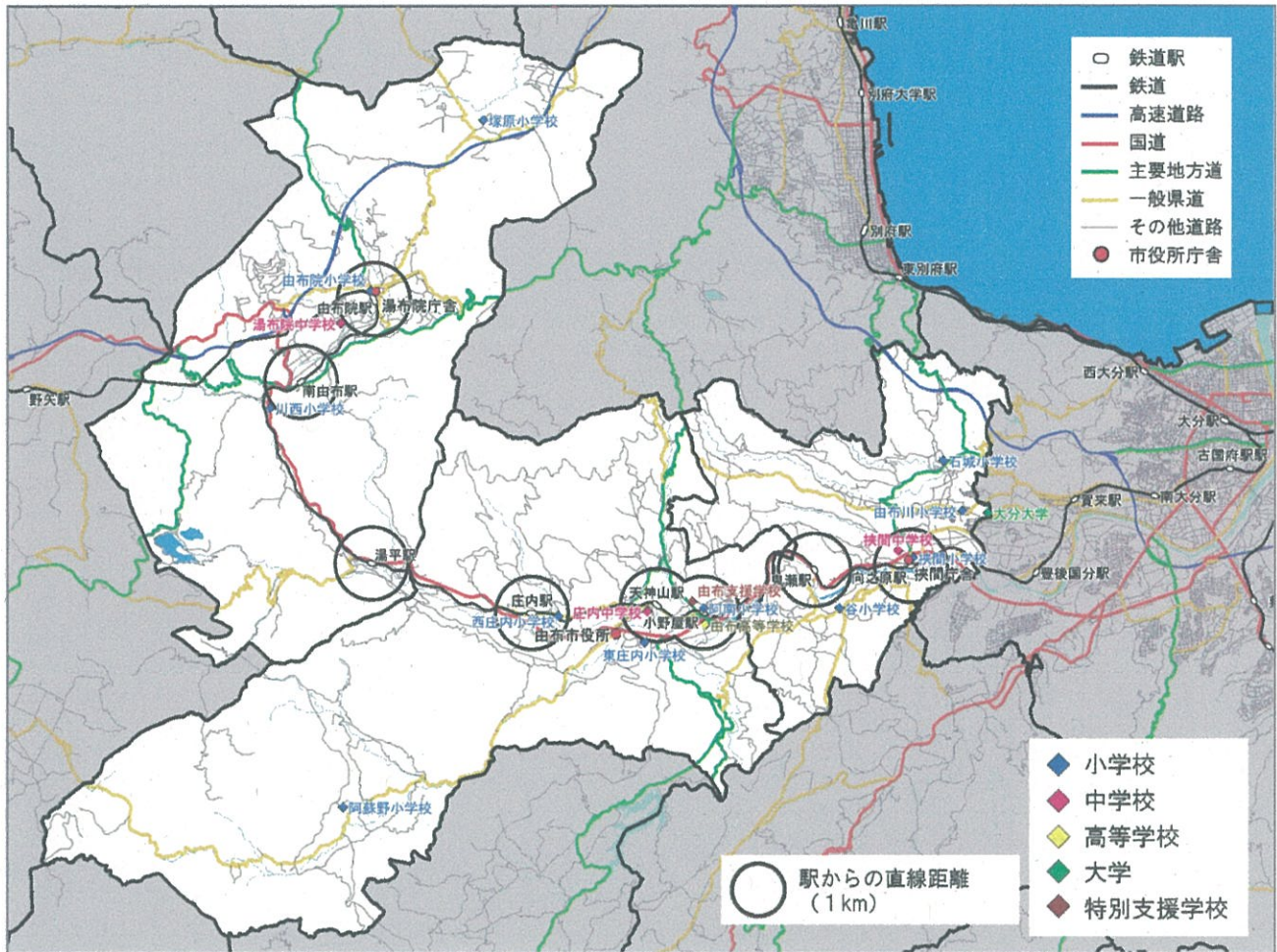


図 公共施設の分布状況（学校）

資料：由布市資料

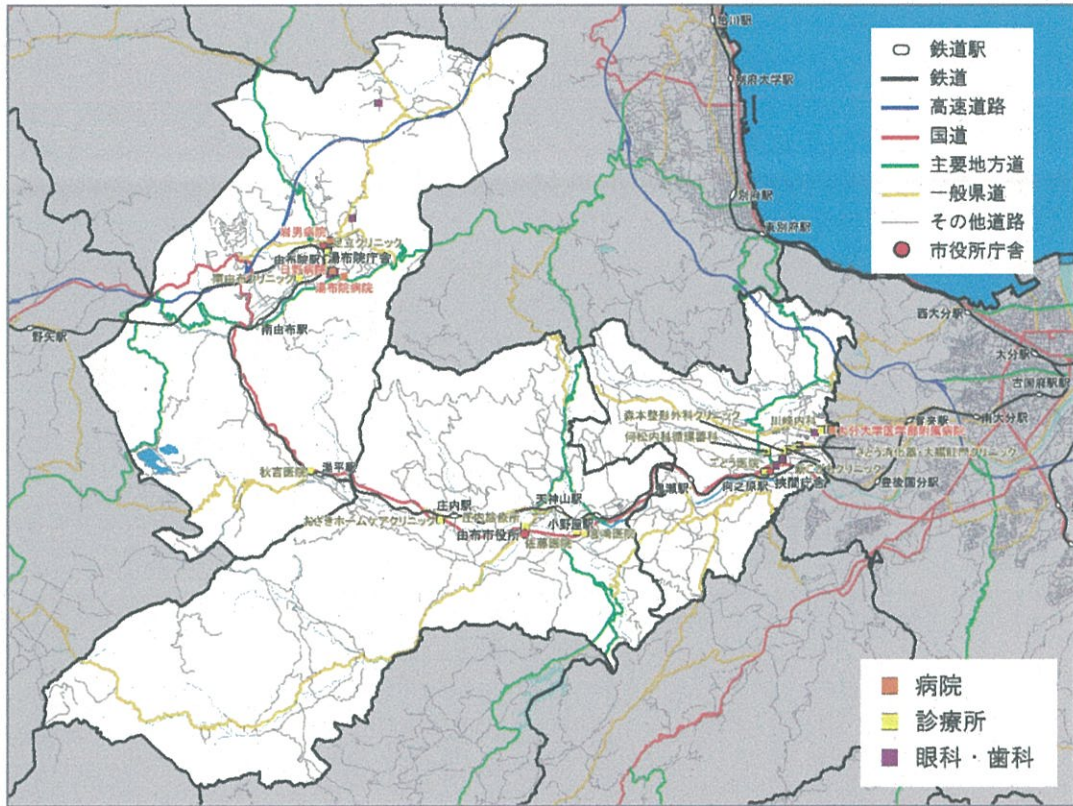


図 医療施設の分布状況

資料：由布市資料

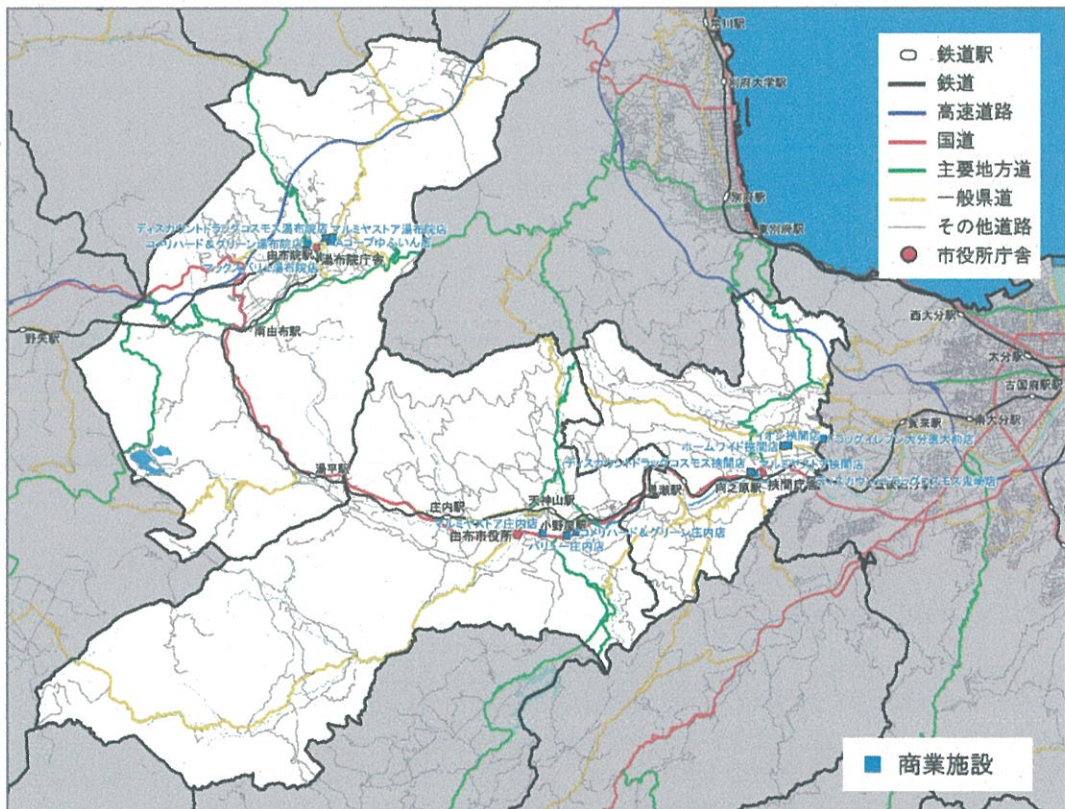


図 商業施設の分布状況

資料：iタウンページ

2-1-3 日常生活における市町村間の結びつき

- 由布市民の通勤流動をみると、市内に約 65%、大分市に 26%みられるほか、別府市への通勤もみられます。
- 通学流動では、市内に約 4 割、大分市へ約 4 割となっているほか、別府市への通学もみられます。
- 由布市民（高齢者）の買物流動をみると、市内に約 77%、大分市に約 2 割となっています。
- なお、本市が過年度実施したアンケート調査結果では、高齢者は、居住する自地域内での買い物が中心であり、庄内地域のみ狭間地域での買い物も一定程度見られました。
- また、通院流動をみると、居住する自地域内での通院が中心ですが、大分市に比較的近い狭間地域と庄内地域は、湯布院地域と異なり、大分市への通院流動も比較的多くみられます。

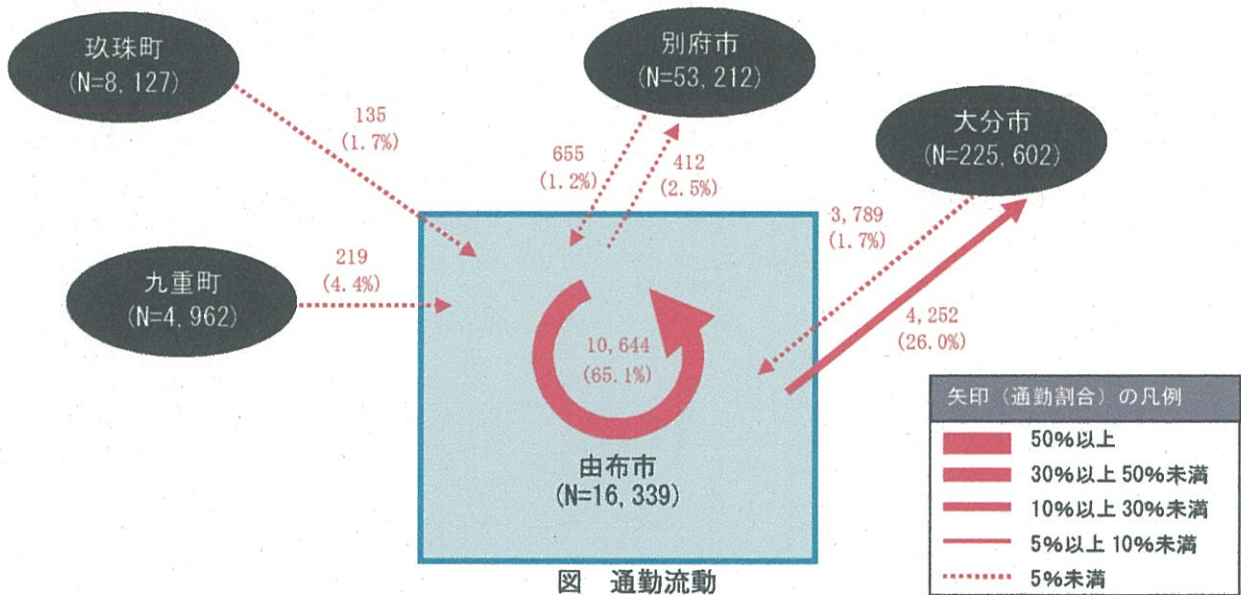


図 通勤流動

資料：平成 27 年 国勢調査

注) 1%以上の流動のみ図示している。由布市への流動が1%未満の市町にはN値を示していない。
上段の数値は人数、下段の数値は割合。

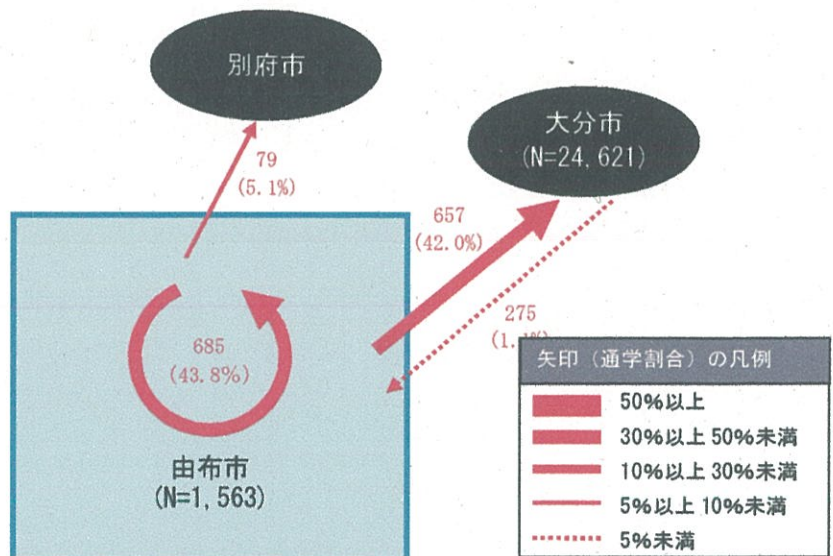


図 通学流動

資料：H27 国勢調査

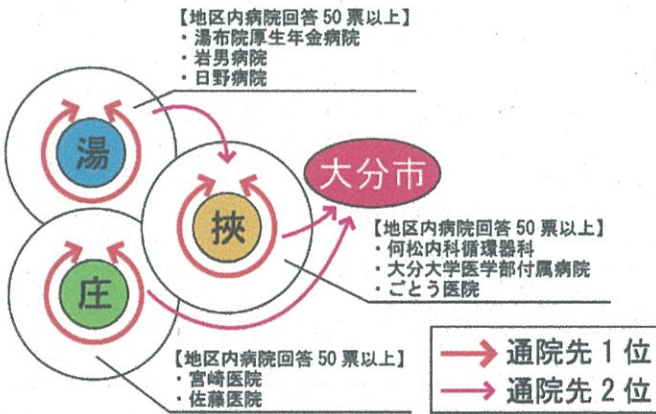
注) 1%以上の流動のみ図示している。由布市への流動が1%未満の市町にはN値を示していない。
上段の数値は人数、下段の数値は割合。

表 大分県内における由布市関連の買い物流動（最寄り品）

	標本数	買い物先(数値:%)																					
		大分市	別府市	中津市	日田市	佐伯市	臼杵市	津久見市	竹田市	豊後高田市	杵築市	宇佐市	豊後大野市	由布市	国東市	姫島村	玖珠町	日出町	九重町	その他	県外		
全体	4,437	22.9	10.6	2.0	7.6	5.2	4.7	4.5	3.4	5.1	2.9	5.3	3.4	4.4	4.0	1.4	5.5	2.4	1.2	2.7	0.7		
居住地別	大分市	731	93.2	3.1	—	—	—	0.4	—	0.3	—	—	—	1.2	—	—	—	—	—	—	1.6	0.1	
	別府市	421	5.7	93.1	0.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.2	—	—	0.7	—	
	中津市	70	1.4	—	78.6	8.6	—	—	—	—	—	2.9	—	—	—	—	—	1.4	—	—	5.7	1.4	
	日田市	348	0.3	—	—	88.5	—	—	—	0.3	—	—	—	—	—	—	—	2.0	—	—	5.5	3.4	
	佐伯市	226	3.1	—	—	—	91.2	—	0.9	—	—	—	—	0.9	—	—	—	—	—	—	4.0	—	
	臼杵市	154	9.7	—	—	—	0.6	77.3	—	—	—	—	—	9.7	—	—	—	—	—	—	2.6	—	
	津久見市	286	5.9	—	—	—	5.6	21.0	64.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.1	—	
	竹田市	156	10.3	0.6	—	—	—	—	—	80.1	—	—	—	1.9	1.9	—	—	—	—	—	—	3.8	1.3
	豊後高田市	228	2.2	0.4	1.8	—	—	—	—	—	74.1	0.9	17.5	—	—	0.4	—	—	—	—	—	2.2	0.4
	杵築市	116	2.6	5.2	1.7	—	—	—	—	—	—	82.8	—	—	—	1.7	—	—	—	—	—	—	—
	宇佐市	211	2.4	0.9	5.2	—	—	—	—	—	5.7	—	82.5	—	—	—	—	—	—	—	—	1.9	1.4
	豊後大野市	147	10.9	0.7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	74.8	—	—	—	—	—	—	—	0.7	0.7
	由布市	227	22.0	0.4	—	0.4	—	—	—	—	—	—	—	—	76.7	—	—	—	—	—	—	0.4	—
	国東市	192	3.6	4.2	1.0	—	—	—	—	—	10.4	7.3	2.1	—	—	67.2	—	—	1.0	—	—	3.1	—
	姫島村	145	2.1	1.4	3.4	—	—	—	—	—	12.4	6.2	2.8	—	—	22.1	37.9	0.7	1.4	1.4	6.2	2.1	—
玖珠町	140	2.9	1.4	—	3.6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	80.7	—	0.7	5.7	2.1	—	
日出町	105	4.8	6.7	—	—	—	—	—	—	—	1.9	—	—	—	—	—	—	81.0	—	—	5.7	—	
九重町	156	4.5	1.3	—	3.8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	57.7	—	28.8	2.6	—	—	

資料：平成 25 年度大分県中心市街地等消費者動向調査

【普段利用する医療施設】



【普段利用する買い物施設】

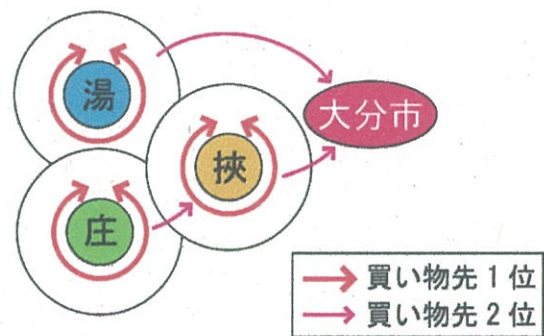


図 市民（高齢者）の通院・買物流動

資料：平成 25 年度高齢者アンケート結果

2-1-4 観光

- 由布市は、湯布院地域を中心に観光資源や宿泊施設が複数分布しており、毎年400万人前後の観光客が訪れ、熊本地震発生前の平成27年度には約411万人が来訪しています。
- 観光客の多くは日本人ですが、近年外国人宿泊客が増加傾向にあります。特に、平成28年度は観光入込客数自体は一時的に落ち込んだものの、外国人は23万人以上の来訪があり、ここ5年間で約2.4倍の増加となっています。
- 外国人観光客の国籍別内訳をみると、アジア諸国（主に韓国、中国、台湾、香港、タイ）に加え、欧米からの来訪も一定程度みられます。

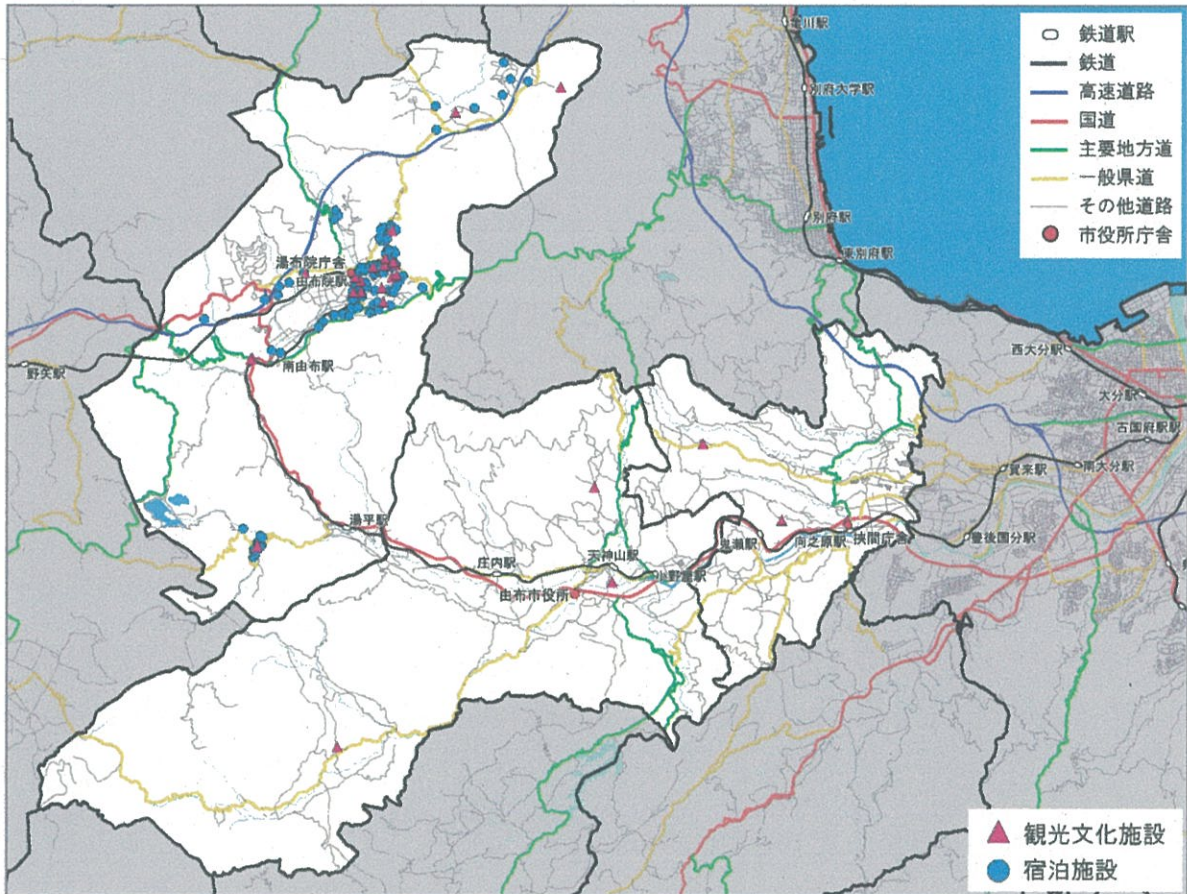


図 主要な観光資源の分布状況

資料：由布市資料

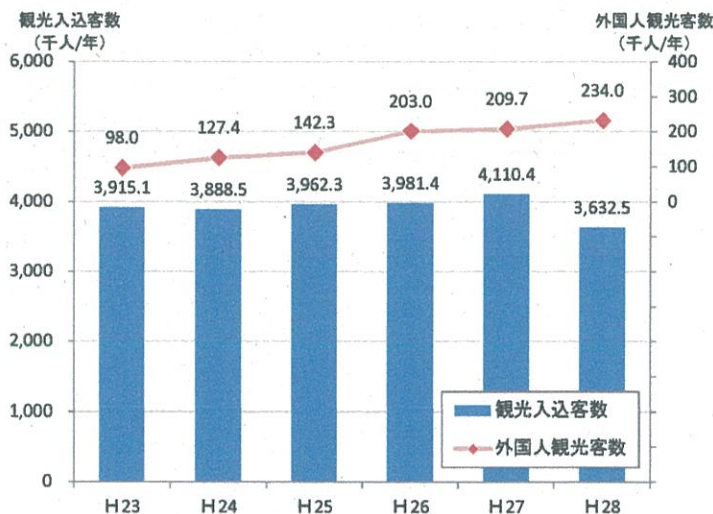


図 由布市の観光客数の推移

資料：由布市観光動態調査

表 外国人観光客国籍別内訳 (H27年度)

(単位:人)

地域	国名	日帰り客数	宿泊客数	合計
アジア	韓国	103,186	42,536	145,722
	中国	18,884	5,644	24,508
	台湾	10,359	4,460	14,819
	中国(香港)	8,899	5,271	14,170
	タイ	6,987	1,470	8,457
	その他	129	0	129
	インド	36	0	36
	フィリピン	25	0	25
	シンガポール	10	0	10
	インドネシア	0	2	2
北アメリカ	アメリカ	713	452	1,165
	カナダ	261	108	369
ヨーロッパ	イギリス	45	28	73
	イタリア	35	12	47
	フランス	34	17	51
	ドイツ	25	11	36
	スウェーデン	12	0	12
	スイス	10	2	12
	その他	0	2	2
その他	オーストラリア	16	0	16
	ブラジル	12	0	12
合計		149,658	60,015	209,673

資料：由布市観光動態調査

- 以下は地域経済分析システム（RESAS）を用いて、平成27年8月～平成28年7月における「外国人メッシュ」（1時間以上滞在した外国人の分布）を図示したものです。
- これによると、由布市を訪れる観光客の多くは主として湯布院地域に滞在していることが分かります。

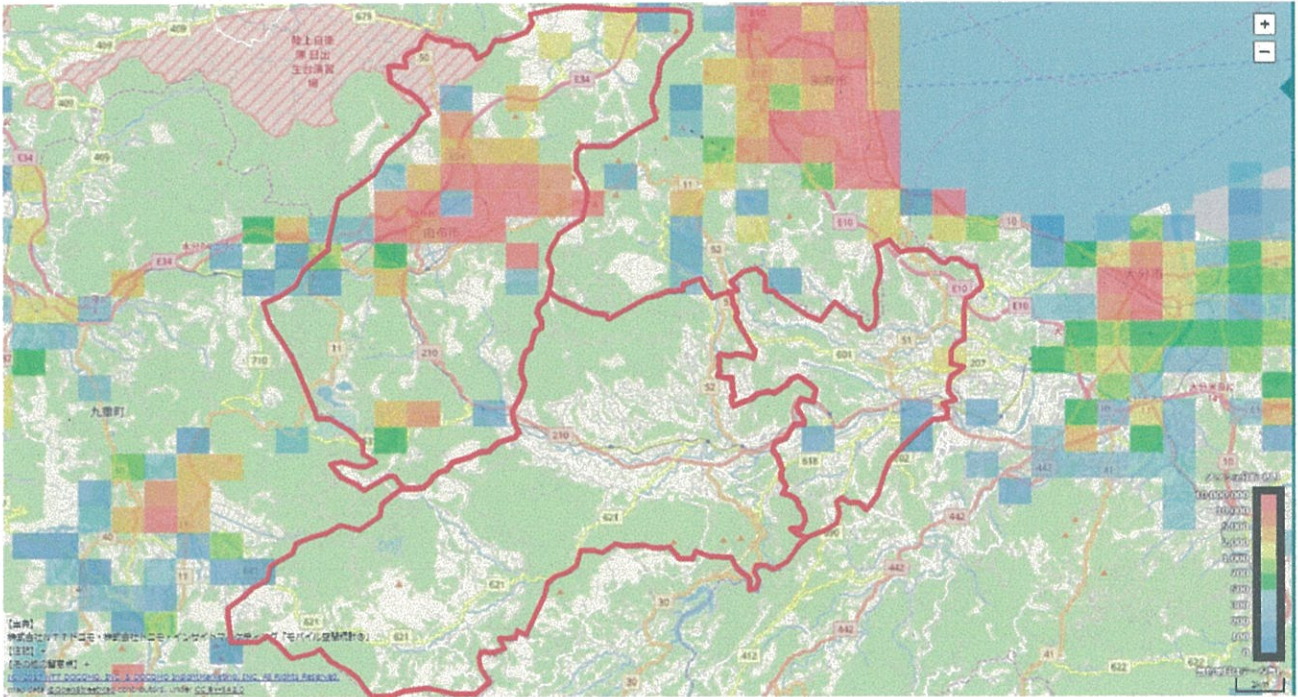


図 由布市に訪れた外国人の分布（※）

※2015年8月～2016年7月の期間中、1時間以上滞在した人の分布
 資料：まち・ひと・しごと創生本部事務局 地域経済分析システム（RESAS）

2-2 公共交通の現状

2-2-1 公共交通の運行状況

- 由布市の公共交通は、JR久大本線のほか、バス交通として、高速バス（空港リムジンバス含む）や路線バス（亀の井バス、大分バス）、九州産交バスが運行する定期観光バス（九州横断バス）があります。
- タクシーは大分県タクシー協会に加盟している事業者が4社あります。
- 市が運行主体のコミュニティバスとして「ユーバス」が計32路線（地域内を運行する24路線※、スクールバス5路線、市内3地域をつなぐシャトルバス3路線）あります。
- また、竹田市が運行主体の「竹田市コミュニティバス」（1路線）が由布市庄内・挟間地域を經由して大分市まで運行されています。

※24路線の中には庄内地域デマンドコース（区域運行）1地区が含まれています。

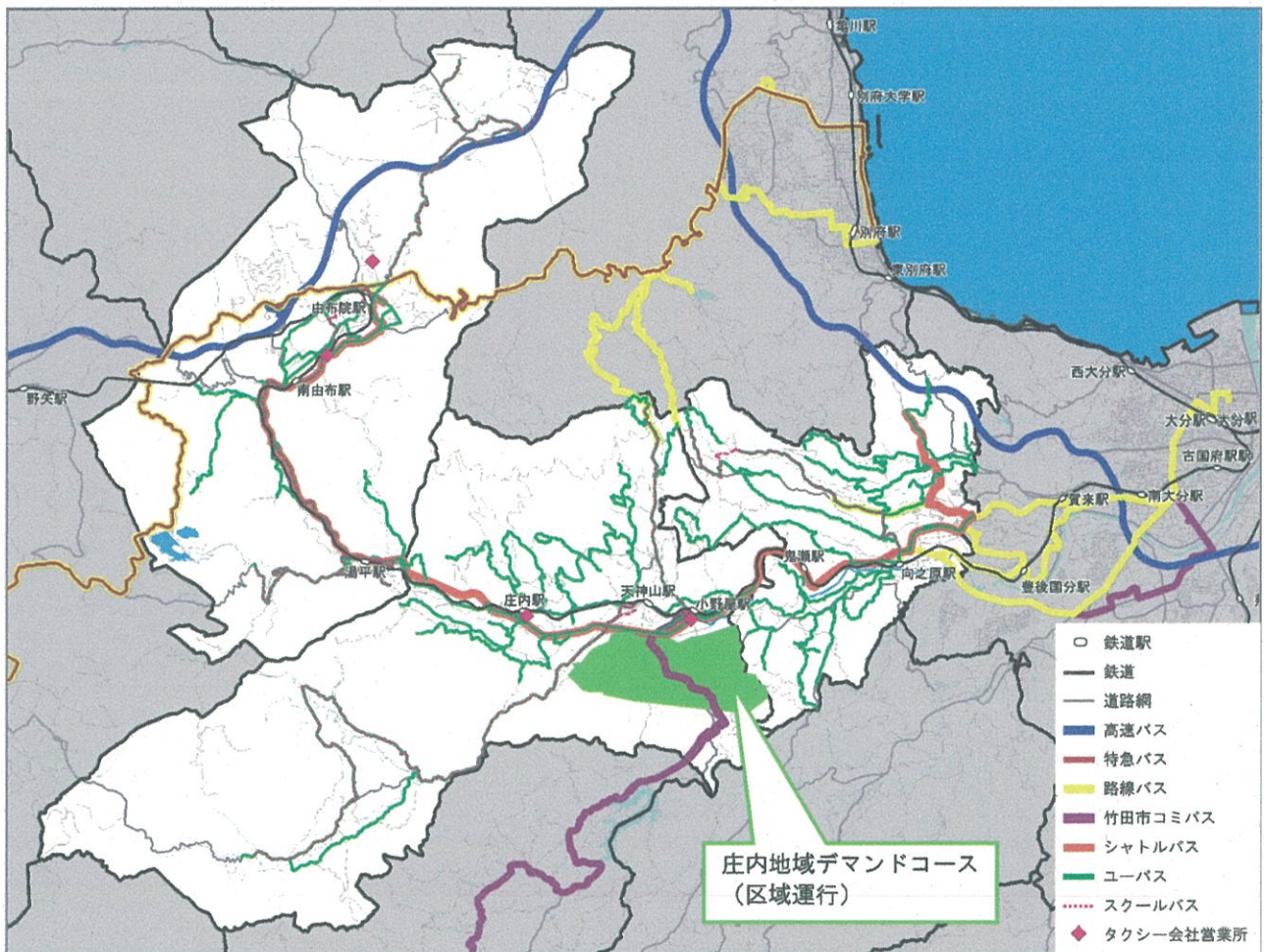


図 由布市の公共交通

資料：由布市資料

- JR久大本線を所属路線とする8か所の駅が設置されており、このうち、由布院駅、向之原駅の2駅が有人駅、残りの5駅（南由布駅、湯平駅、庄内駅※、天神山駅、小野屋駅※、鬼瀬駅）は無人駅となっています。
- 博多駅から久留米・日田を經由し別府駅までを結び、沿線地域を訪れる観光客等の移動手段（交通資源）としての利用のみならず、観光客等にとっては乗務員の温かなおもてなしや雄大な自然景観等を楽しめる交流資源の1つとなっている「特急ゆふいんの森」（全席指定席）は市内では由布院駅に停車します。
- また、「特急ゆふ」は由布院駅のほか、湯平駅、向之原駅にも停車しています。

※庄内地域の中心駅である庄内駅は無人駅化された昭和59年より市が委託した嘱託員を配置。

※小野屋駅は由布高校通学生の定期券販売等に対応するため、無人駅化された平成28年より市が委託した嘱託員を配置。

※久大本線の光岡駅～日田駅間の橋梁の流出により、特急「ゆふいんの森」は小倉駅・大分駅経由で博多駅～由布院駅間を臨時運行中(平成29年12月末時点)。

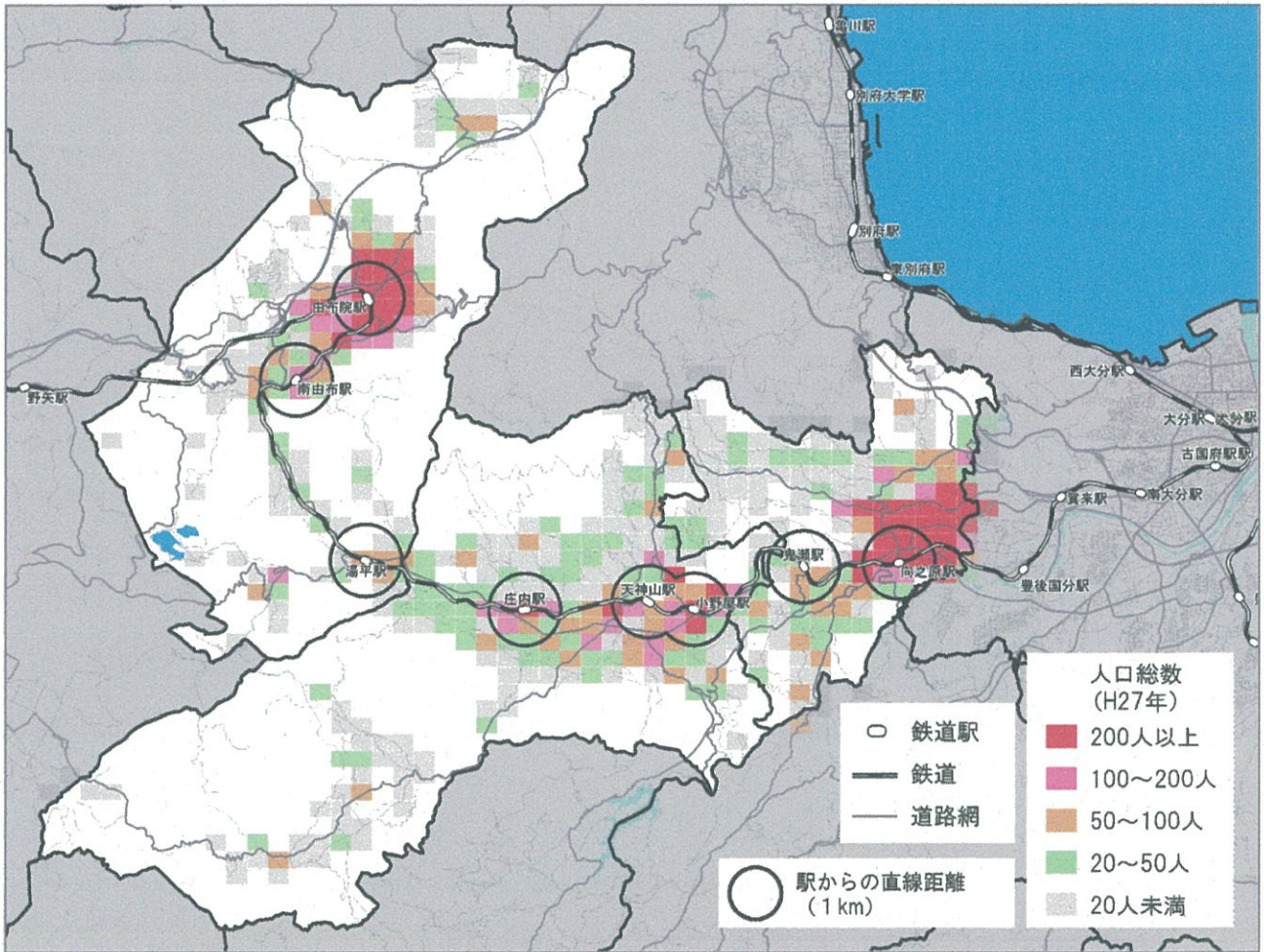


図 JRの運行状況と人口分布

資料:平成27年国勢調査



図 特急ゆふいんの森

出典:JR九州



図 特急ゆふいんの森での乗務員のおもてなし

出典:旅行予約サイト「たびらい大分」

- 平成27年度における駅の利用者数は、由布院駅（約94万人）が最も多く、次いで、向之原駅（約47万人）、小野屋駅（約26万人）の順となっています。これらは駅からの1km圏内に多くの人口集積がみられます。
- 市内では由布院駅と向之原駅で利用者の増加がみられます。

表 JR各駅の利用者数の推移

(単位:人/年)

JR駅名	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
由布院駅	614,741	586,997	622,754	634,913	935,248
向之原駅	426,876	419,750	428,220	425,393	467,498
天神山駅	81,635	68,900	77,967	75,282	79,254
鬼瀬駅	13,764	14,195	10,630	12,327	13,141
湯平駅	28,872	29,173	30,997	27,843	27,414
小野屋駅	314,368	318,333	304,580	269,287	259,854
庄内駅	98,286	85,103	88,187	80,115	80,515
南由布駅	50,910	48,719	47,230	41,104	38,085
計	1,629,452	1,571,170	1,610,565	1,566,264	1,901,009

資料：大分県統計年鑑

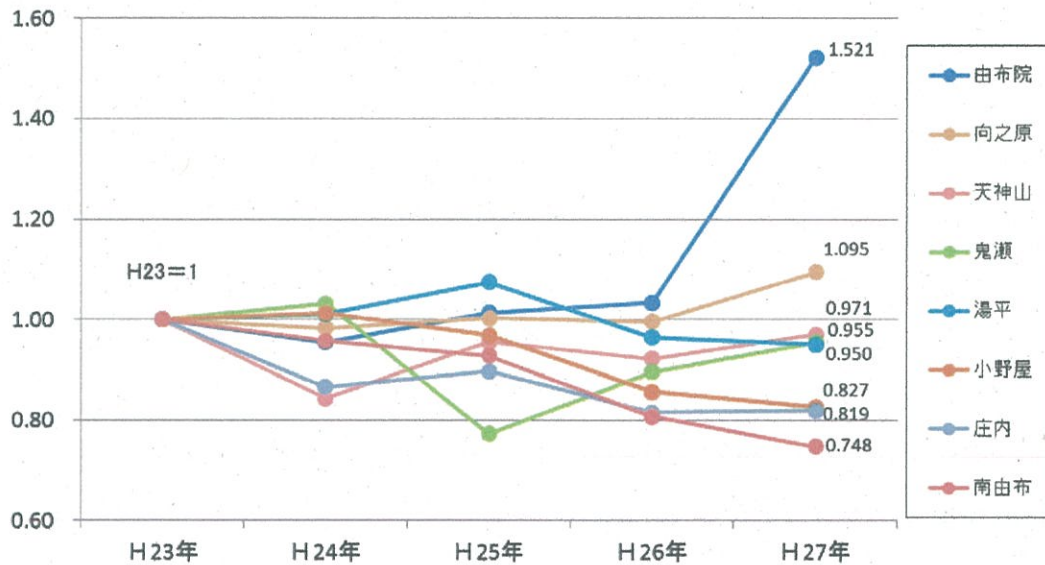


図 JR各駅の利用者数の増減状況 (H23を1とした場合の比率の推移)

資料：大分県統計年鑑

2-2-3 バス交通

- 市内などを運行するバス交通としては、福岡や長崎方面に加え、大分空港等への広域移動を担う高速バスが3路線運行されています。
- 由布市と隣接市を結ぶ路線バスとしては、大分バス（計26系統）が由布市挟間地区と大分市を、亀の井バス（4路線）が由布市湯布院地域と別府市をそれぞれ結んでいます。
- その他、九州産交バス（1路線）が別府市と熊本市を結び、由布市湯布院地域のほか、黒川や阿蘇といった周辺の著名な観光資源を経由する定期観光バス「九州横断バス」が運行されています。
- また、竹田市が運行主体の「竹田市コミュニティバス」（1路線）が由布市庄内・挟間地域を経由して大分市まで運行されています。

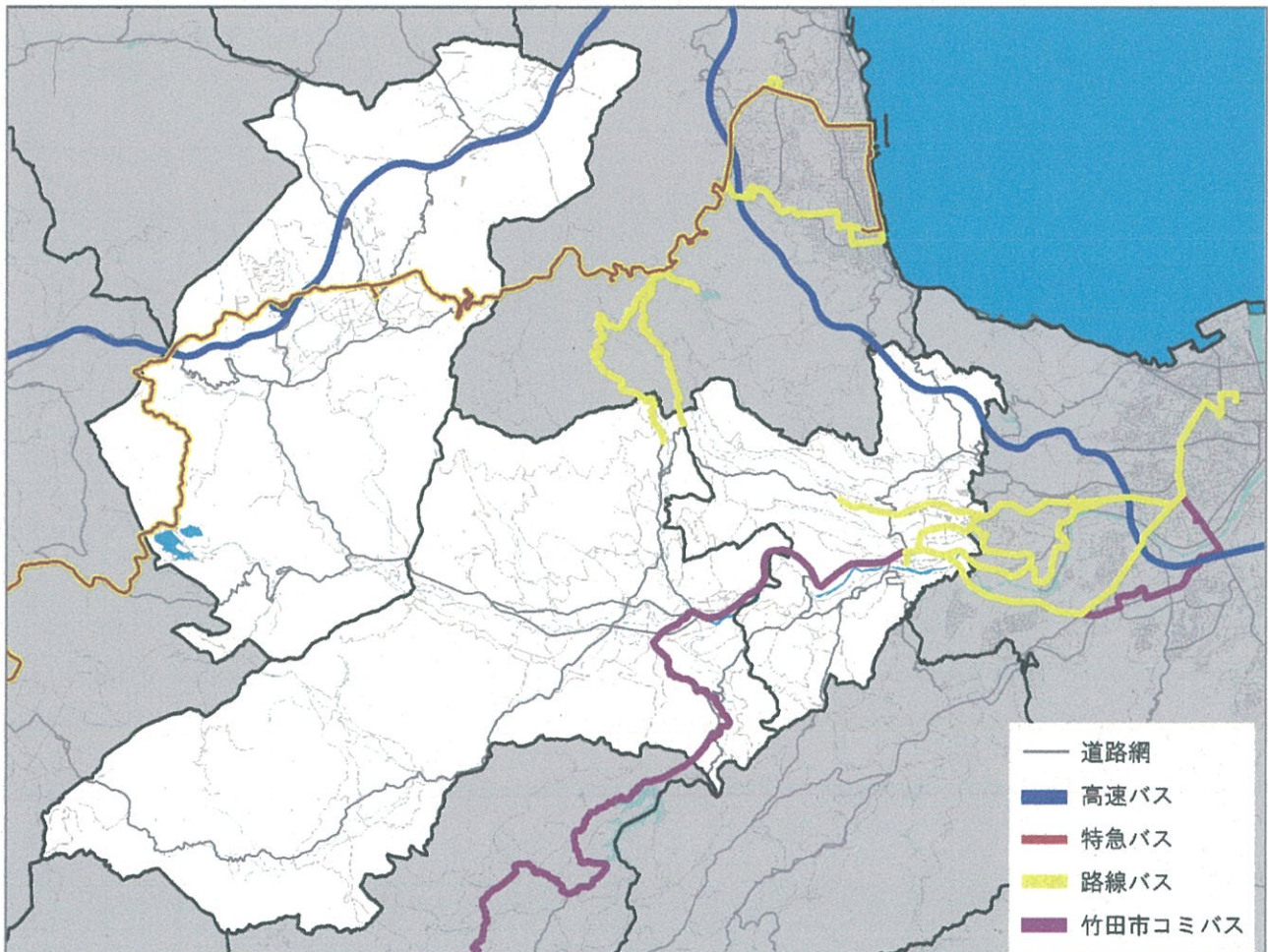


図 路線バスの運行状況

●路線バスの中で比較的高頻度で運行されている大分バスは1日109便市内と大分市を運行しており、大学病院経由・向の原駅経由など計26系統あります。

※平均すると1系統あたり4.2便/日(概ね2往復/日程度)

●特に大学病院を発着・経由する系統は1日104便、計22系統あります

※平均すると1系統あたり4.7便/日(概ね2.5往復/日程度)

●大分バスへのヒアリングによると、このようになった背景として、「大学病院の敷地内に広いバスの待機スペースがなく、他の車の邪魔になるため、病院到着後すぐにバス車両を別の場所に移動せざるを得ない状況。それぞれの運転士の勤務シフト等を熟慮した結果、複数の枝分かれ系統ができてしまった。バス事業者としても実際のバス需要と合致しない系統と認識しており、今後の対応を模索している状況にある」とのことでした。

表 バス交通の運行概要

◆高速バス

路線	系統名	平日運行便数(便/日)	運行事業者
湯布院福岡 (ゆふいん号)	(ノンストップ便)湯布院～基山～福岡空港・博多バスターミナル・天神高速バスターミナル	14	亀の井バス 西鉄バス 日田バス
	(各停便)湯布院～九重～玖珠～日田～基山～福岡空港・博多バスターミナル・天神高速バスターミナル	24	
湯布院大分空港	湯布院～大分空港(ノンストップ)	18	亀の井バス 大分交通
大分長崎 (サンライト号)	大分～別府～湯布院～玖珠～日田～長崎	10	大分バス 大分交通 長崎県営バス 長崎バス

◆大分バス

分類	系統名	平日運行便数(便/日)
大分市街地から大学病院に行けるバス系統(掃り便含む)	県庁正門～大学病院	36
	県庁正門～大学病院～放送大学	
	鶴崎支所～大学病院	
	県庁正門～大学病院～放送大学～国新～国分団地	
	県庁～大学病院～放送大学～国新～富士見GP北	
	県庁正門～大学病院～赤野	
	県庁正門～大学病院～由布川温泉前	
	大学病院～コンパルホール入口	
	放送大学～大学病院～コンパルホール入口	
	大学病院～鶴崎支所	32
	大学病院～鶴崎(裏)	
	富士見GP北～国新～放送大学～大学病院～コンパルホール入口	
	赤野～大学病院～コンパルホール入口	
	由布川温泉前～大学病院～コンパルホール入口	17
	向の原駅～大学病院～向の原駅	
	向の原駅～大学病院～向の原駅～すすくいいきき村	
	鶴崎支所～大学病院～向の原駅	
	向の原駅～大学病院～コンパルホール入口	
	向の原駅～大学病院～コンパルホール入口～ホルトホール大分	
すすくいいきき村～向の原駅～大学病院～コンパルホール入口		
向の原駅～大学病院～鶴崎支所		
すすくいいきき村～向の原駅～大学病院～鶴崎支所	2	
大分市街地から向の原駅に行けるバス系統(大学病院経由を除く)(掃り便含む)		3
県庁正門～木の上～向の原駅		
向の原～松～宗方台中央～コンパルホール入口		
向の原駅～木の上～コンパルホール入口		
	向の原駅～国新～賀来新川～コンパルホール入口	

計109便/日

◆亀の井バス

路線	系統名	平日運行便数(便/日)
別府湯布院線	別府駅西口～別府ロープウェイ～城島高原パーク～湯布院	25
観光快速ゆふりん	観光港～鉄輪口～別府ロープウェイ～城島高原パーク～湯布院	15
くじゅう高原線	別府駅西口～別府ロープウェイ～城島高原パーク～湯布院～くじゅう高原 【土日祝のみ運行、12～2月は湯布院止め】	0 (土日祝4)
袖の木線	別府駅西口～鳥居～袖の木	2(※)
塚線	別府駅西口～鳥居～塚	4(※)

※平成29年10月1日～平成30年9月30日まで運休

◆九州産交バス

路線	系統名	平日運行便数(便/日)
九州横断バス	熊本～阿蘇・黒川～湯布院～別府 ※1往復は湯布院止め	2

◆竹田市コミュニティバス

路線	系統名	平日運行便数(便/日)	運行事業者
久住・長湯～小野屋～大分	久住(竹田市)～小野屋駅前～わさだタウン～大分駅前	4	大野竹田バス

2-2-4 ユーバス

- 以前は福祉バスとして運行が行われていましたが、一般バス路線の廃止を受け、平成19年12月よりユーバスとして運行されています。
- 現在、市内各地域で中心部に向けたコース（挾間地域9コース、庄内地域8コース、湯布院地域6コース）があるほか、地域同士を結ぶシャトルバス（挾間地域と庄内地域、庄内地域と湯布院地域の2コース）、小中学生と一般客が混乗できるスクールバス（挾間地域2コース、庄内地域2コース、湯布院地域2コース）があります。また、庄内地域の一部では、デマンド運行が行われています。
- なお、バス車両の間合い利用として、スクールバスが運行されない時間帯は、シャトルバスが運行されています。

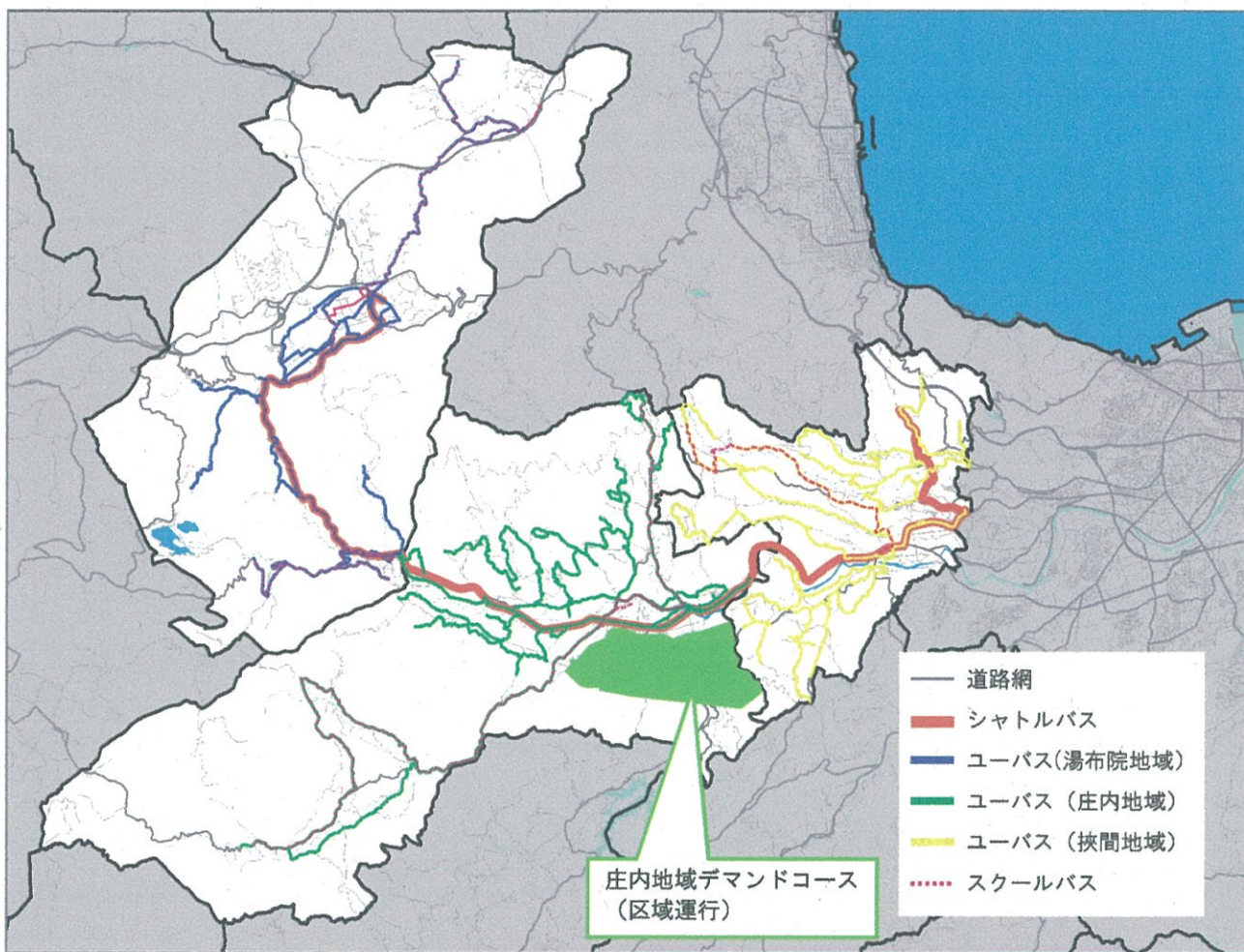


図 ユーバスの運行状況

- 平成 28 年度のユーバスの財政負担額は約 6,700 万円となっており、平成 25 年度（約 6,400 万円）に比べ、増加傾向にあります。
- 一方で、平成 28 年度のユーバスの利用者数は約 45,000 人となっており、平成 25 年度（約 50,000 人）に比べ、減少傾向にあります。
- 平成 28 年度のユーバスの利用者一人あたりの財政負担額は 1,510 円/人となっており、平成 25 年度（1,290 円/人）に比べ、約 1.2 倍増加しています。

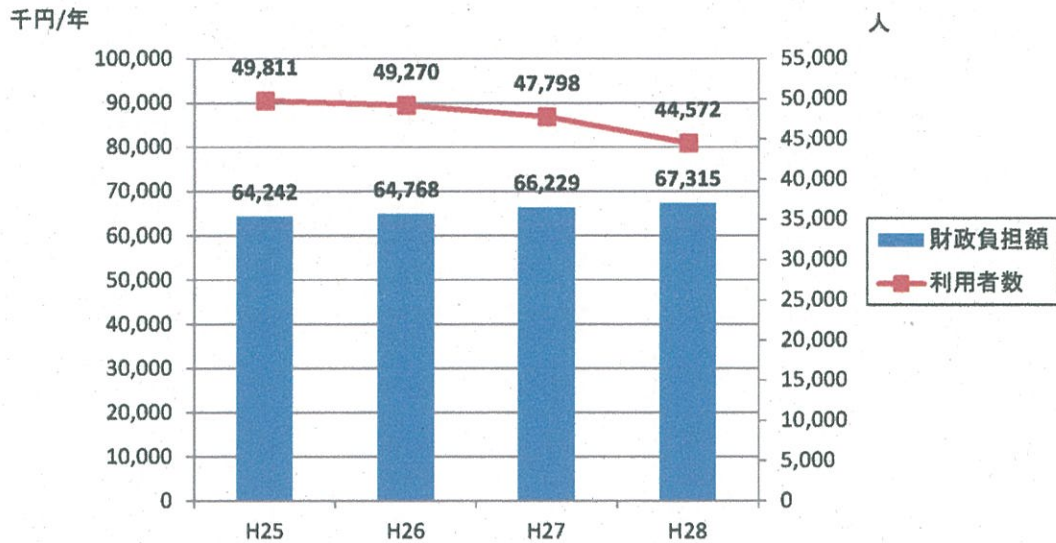


図 ユーバスの財政負担額・利用者数の推移
資料：由布市資料

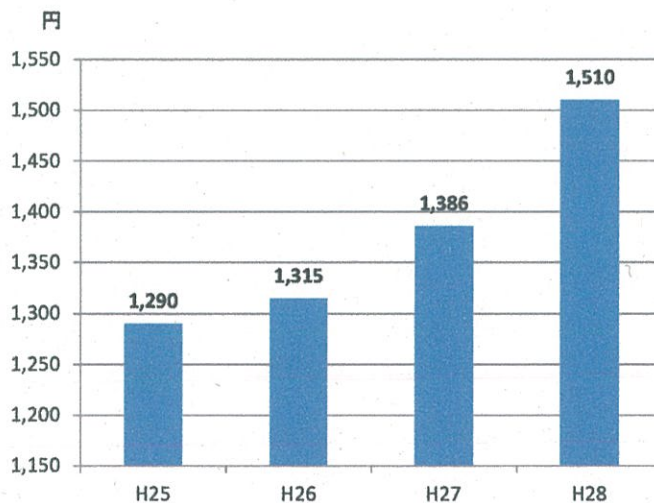


図 ユーバスの利用者一人あたり財政負担額の推移
資料：由布市資料

- 道路網
- シャトルバス
- - - スクールバス
- 七蔵司コース
- 北田代コース
- 片野コース
- 朴木コース
- 筒口コース
- 下詰コース
- 時松コース
- 南田代コース
- 酒野コース

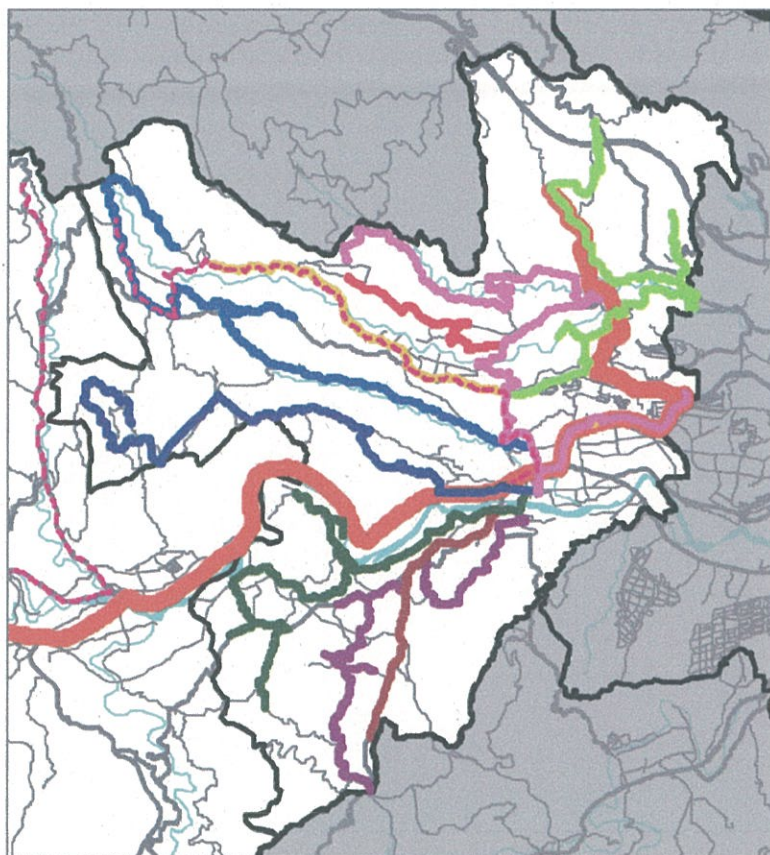


図 ユーバスの運行状況：挟間地域

表 ユーバスの運行概要：挟間地域

路線名	キロ程 (km)	運行日	運行便数 (便/日)	運行業者名
七蔵司コース	17.9	(月・水)	2.0	久大タクシー
北田代コース	14.6	(火)久大 (金)久大・野津原	2.0	久大タクシー 野津原タクシー
片野コース	15.4	(火・金)	2.0	野津原タクシー
朴木コース	16.6	(水)野津原 (金)久大	2.0	久大タクシー 野津原タクシー
筒口コース	13.7	(火・金)	2.0	久大タクシー
下詰コース	10.3	(月・水)	2.0	大分バス
時松コース	13.6	(月・木)	2.0	久大タクシー
南田代コース	9.9	(月・水)	2.0	久大タクシー
酒野コース	7.2	(月・木)	2.0	大分バス
スクール朴木コース	10.3	(毎平日)※祝日を除く	3.0	大分バス
スクール石城	17.4	(毎平日)※祝日を除く	3.0	大分バス
由布市シャトル(庄内⇄挟間)	13.0	(毎平日)※祝日を除く	5.0	大分バス

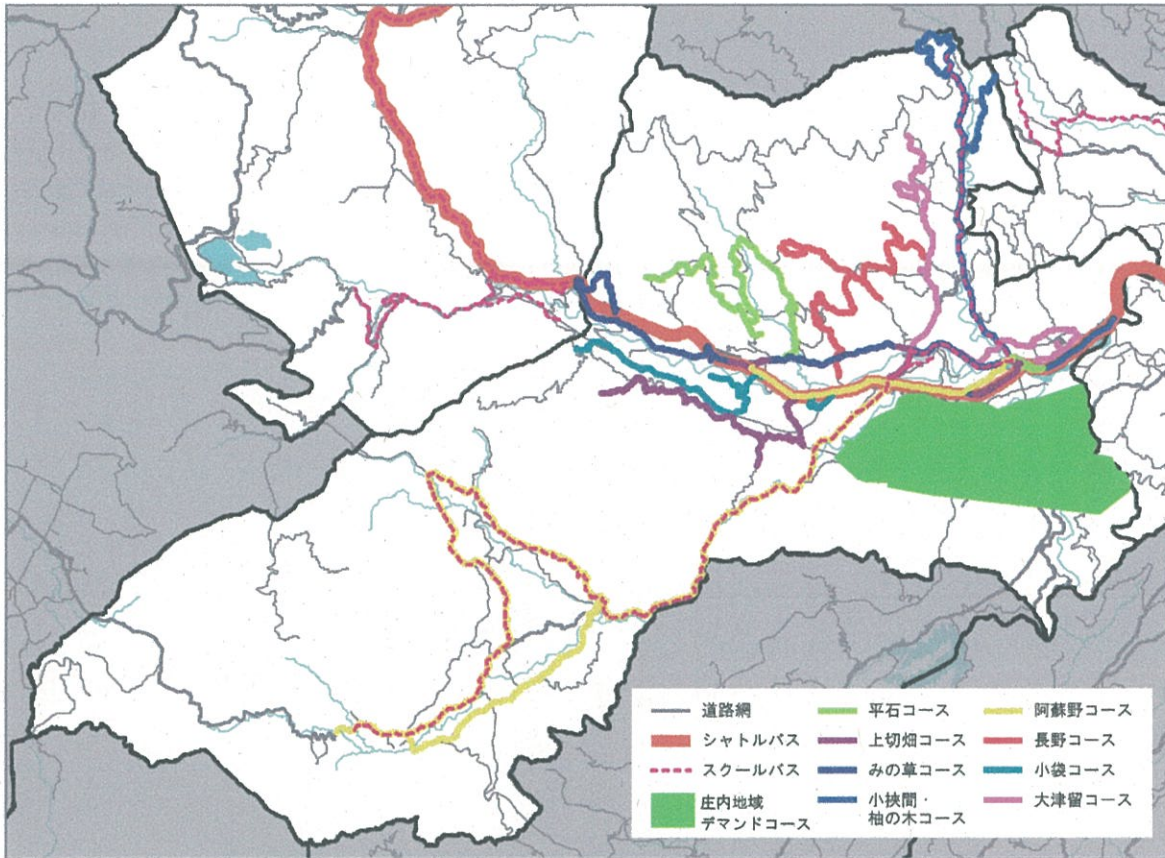


図 ユーバスの運行状況：庄内地域

表 ユーバスの運行概要：庄内地域

路線名	キロ程 (km)	運行日	運行便数 (便/日)	運行业者名
平石コース	21.1	(月)久大 (水)庄内	2.0	久大タクシー 庄内タクシー
上切畑コース	19.3	(月)久大 (木)庄内	2.0	久大タクシー 庄内タクシー
みの草コース	15.4	(火・木)	2.0	庄内タクシー
小狭間・柚の木コース	25.1	(火・金)	2.0	久大タクシー
阿蘇野コース(往)	35.7	(火・金)	1.0	大分バス
阿蘇野コース(復)	35.0	(火・金)	1.0	大分バス
長野コース	23.2	(水・金)	2.0	庄内タクシー
小袋コース	17.5	(火・金)	2.0	庄内タクシー
大津留コース	19.9	(火・木)	2.0	久大タクシー
庄内地域デマンドコース (龍原・五ヶ瀬・大龍の一部・柿原の一部⇄ 庄内町中心部)	-	(木)※予約制	1.0	庄内タクシー
スクール大津留コース	10.6	(毎平日)※祝日を除く	3.0	大分バス
スクール阿蘇野コース	25.5	(毎平日)※祝日を除く	4.0	大分バス
由布市シャトル(庄内⇄湯布院) ※午前往路	19.0	大野竹田バス(4月～9月) 大分バス(10月～3月)	1.0	大野竹田バス・ 大分バス
由布市シャトル(庄内⇄湯布院) ※午前復路、午後便	19.4	(毎平日)※祝日を除く	3.0	亀の井バス
由布市シャトル(庄内⇄狭間)	13.0	(毎平日)※祝日を除く	5.0	大分バス

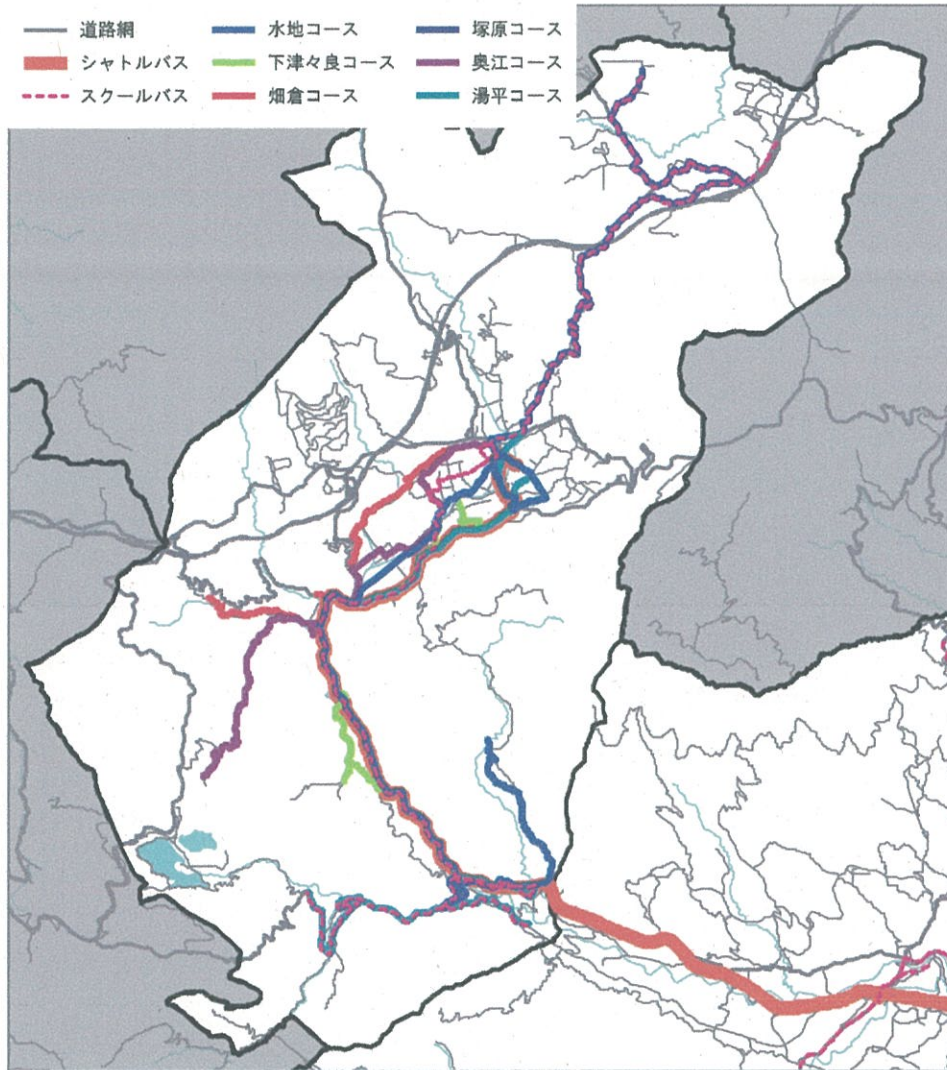


図 ユーバスの運行状況：湯布院地域

表 ユーバスの運行概要：湯布院地域

路線名	キロ程 (km)	運行日	運行便数 (便/日)	運行業者名
水地コース	19.9	(月・木)	2.0	みなとタクシー(4月～9月) 第一交通(10月～3月)
下津々良コース	13.5	(月・木)	2.0	みなとタクシー(4月～9月) 第一交通(10月～3月)
畑倉コース	12.8	(火・金)	2.0	みなとタクシー(4月～9月) 第一交通(10月～3月)
塚原コース	16.4	(火・金)	2.0	亀の井バス
奥江コース	14.8	(火・金)	2.0	みなとタクシー(4月～9月) 第一交通(10月～3月)
湯平コース	22.2	(月・木)	2.0	亀の井バス
スクール湯平コース	19.7	(毎平日)※祝日を除く	3.0	亀の井バス
スクール塚原コース	16.2	(毎平日)※祝日を除く	3.0	亀の井バス
由布市シャトル(庄内⇄湯布院) ※午前往路	19.0	大野竹田バス(4月～9月) 大分バス(10月～3月)	1.0	大野竹田バス・ 大分バス
由布市シャトル(庄内⇄湯布院) ※午前復路、午後便	19.4	(毎平日)※祝日を除く	3.0	亀の井バス

2-2-5 タクシー

- 市内のタクシー事業者は4社あり、タクシー車両は、ジャンボタクシー9台、大型1台、中型9台、小型75台ある。
- タクシーの輸送人員をみると、平成24年度から27年度にかけて増加傾向にあったが、平成28年度に一転して平成25年度の状態に戻っている。この傾向は、先述の由布市の宿泊観光客数の推移と類似しており、観光客の入込の多寡がタクシー利用に影響を与えている可能性がうかがえる。
- なお、事業者が感じている課題としては、4社全てが「運転手不足」と「運転手の高齢化」を挙げている。

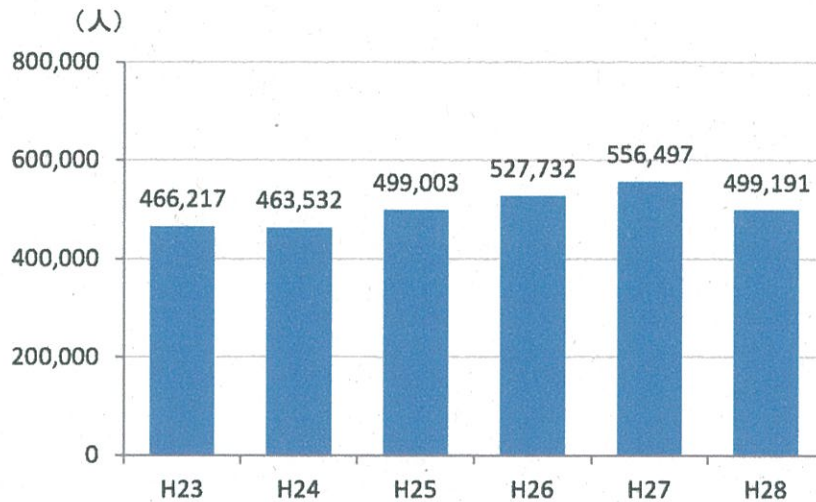


図 タクシーの輸送人員

表 タクシー事業者の所有車両と事業者が感じている課題（ヒアリング結果）

事業者名	所有車両（H29）	事業者が感じている課題等
みなとタクシー 湯布院営業所	<ul style="list-style-type: none"> ・ジャンボタクシー3台 ・中型1台 ・小型26台 （うちプリウス17台） 	<ul style="list-style-type: none"> ・会社のほうで二種免許の取得費用を出し、未経験者には教育期間を設けているが人手不足。 ・年配者が多く、若い人たちは、給料は安くてもいいから安定した仕事と土日は休みたいなど価値観の違いから労働条件には合わない。 ・小型タクシーをプリウスにしたが、雪道等ではスタックする（動かなくなる）上、ハッチバックなので荷物があまり載らない。 ・シエンタを7人用から5人用に改造し、試験的に導入し、プリウスから切り替える検討をしようとしている。
久大タクシー 向原営業所	<ul style="list-style-type: none"> ・ジャンボタクシー3台 ・小型25台 	<ul style="list-style-type: none"> ・運転手の確保。 ・運転手の年齢層は60代が多く、若い人はつきたがらない。 ・小型車両3台程度の減車を求められており、需要に対してどのように車両運用していくかが課題。
庄内タクシー	<ul style="list-style-type: none"> ・ジャンボタクシー1台 ・小型6台（2台はスペア） 	<ul style="list-style-type: none"> ・家から近く年金を受給しながら運転手をしている人が多いが、若い人は収入面でも難しいため、運転手不足
第一交通 湯布院営業所	<ul style="list-style-type: none"> ・ジャンボタクシー2台 ・大型1台 ・中型2台 ・小型タクシー18台 	<ul style="list-style-type: none"> ・運転手の確保は重要。 ・保有台数は大型クラウンが大分空港などの送迎が多い。 ・運転手の人数は16人。40代が1人、50代もいるが60代が多い。